

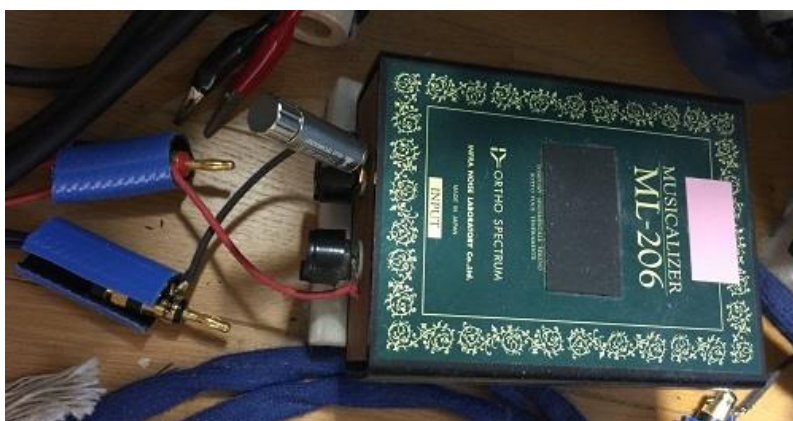
仮想アース Crystal Ep の導入(2)(HP 収載) —スピーカーケーブル—

1. 始めに

前報(1)で光城精工の仮想アース Crystal Ep の仕様と機能について報告し、試聴対象機器は、Crystal E の試聴したものを順次試聴することを述べました。今回から Crystal Ep の試聴を順次開始していきます。

2. Crystal Ep の試聴方法

入手したものは Crystal Ep のうち、Y ラグ端子をもつ Crystal EpY です。
今回は、手始めに Crystal E の試聴において、効果の大きかったスピーカーケーブルの試聴を行います。試聴方法は、スピーカーケーブルに介在させているムジカライザーML-6の端子に直接 Crystal EpY の Y ラグを直接セットします。



音源は Crystal E の試聴において使用したアナログ盤と BPODCH の再生とします。

3. Crystal Ep の試聴結果

アナログ盤は下記を使用し、Crystal EpY のあるなしで聴いていきます。

ドイツグラモフォン MG8333/4

ニコロ・パガニーニ 24 の奇想曲

サルヴァトーレ・アッカード (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーベン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

パガニーニの 24 の奇想曲では、Crystal EpY をセットしますと、アッカードのボウイングの様子が分かりやすくなり、胴鳴りも聴き取れます。

選帝侯のソナタでは、Crystal EpY をセットしますと、アンダのピアノの打鍵がクリアーになり、高音が澄んできます。

ワルキューレでは、Crystal EpY をセットしますと、オーケストラの各パートの音の分離が向上し、ソプラノやメゾソプラノの歌唱がクリアーになって歌唱位置の定位がしっかりしてきます。

BPODCH の再生では、ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィルのマーラーの 3 番とエフゲニー・キーシンのピアノとマリス・ヤンソンス指揮ベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲 1 番です。

マーラーの 3 番では、Crystal EpY をセットしますと、オーケストラの各パートの音の分離が向上し、グランカッサの弱打が明瞭になり、低弦の大ホールでの響きがリアルです。

リストのピアノ協奏曲 1 番では、Crystal EpY をセットしますと、オーケストラの音の分離と協和が向上し、ピアノの打鍵がくっきりとして、左手の打鍵の沈み込みがしっかりしてきます。

以上において 1 : 1 比較はしていませんが、音質の変化の方向は、Crystal E の効果に近い印象です。

4. まとめ

スピーカーケーブルに介在させているムジカライザーML-6 の端子に直接 Crystal EpY の Y ラグをセットする効果を認めました。

以上